

2022年度

事業報告書

自 2022年4月1日

至 2023年3月31日

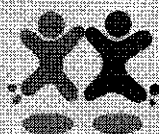
公益財団法人 佐賀県国際交流協会

心の国境をなくそう！ Free your heart of borders!

Saga
Prefecture
International
Relations
Association

佐賀県国際交流協会年報

2022年度事業



公益財団法人 佐賀県国際交流協会

CONTENTS

協会概要	02
役員名簿	03
主な取り組み	04
事業年表	05
事業実績	06

A コミュニケーション支援

国際交流・協力情報誌発行（外国人向け）	06
情報収集・提供	06
日本語教室支援	06
日本語ボランティア研修会	07
外国人による日本語スピーチコンテスト	07
「やさしい日本語」啓発セミナー	08

B 生活支援

在住外国人生活支援	08
•生活相談・専門家相談	08
•健康相談	08
•医療通訳	08
子ども日本語学習サポーター等派遣	09
災害・コロナ対応	10

C 多文化共生の地域づくり

国際交流・協力情報誌発行（日本人向け）	11
地球発見隊出前講座	11
多文化共生セミナー	12
ボランティア啓発・推進	12
多文化共生等助成事業	13
SPIRAさが国際フェスタ	14
Sagan World Cup 2022 フットサル大会	15
多文化共生情報発信事業	15
佐賀県国際交流プラザ運営管理事業	15

さが多文化共生センター

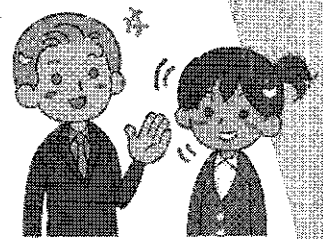
•生活相談	16
•専門家相談	16
•ウクライナ避難民生活支援	16
•ウクライナチャリティーコンサート	17

その他の協会事業

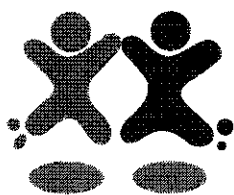
インターンシップの受入	17
国旗の貸出	17

賛助会員

賛助会員募集	18
--------	----



公益財団法人 佐賀県国際交流協会の概要



Saga
Prefecture
International
Relations
Association

SPIRAのシンボルマーク
「手をつなぎ、楽しくコ
ミュニケーションする人
と人。緑は佐賀平野、赤
はお互いの熱意、青は世
界に広がる海のイメージ
です。」

公益財団法人佐賀県国際交流協会は、世界に開かれた佐賀づくりをめざして、県、市町村、民間企業、県民の方々の協力により、県民総参加の国際交流を推進するための中核組織として1990年（平成2年）2月7日に設立され、2013年（平成25年）4月1日に公益財団法人となりました。

佐賀県には、2023年（令和5年）1月1日時点で7,780人の外国人が生活しており、2016年（平成28年）には全国1位の増加率を記録するなど、ここ数年で大きく増加しています。

このような中で、国籍や民族などの異なる人々がお互いの文化的な違いを認め合い、対等な関係を築きながら、地域社会の構成員として共に生きていく、いわゆる「多文化共生」の地域づくりが求められています。

また近年、全国的に自然災害が多発する中、地域の自助力、地域住民の連携が見直されています。佐賀県が国籍を問わず万人にとって安全で住みよい場所となるよう、当協会も多文化共生の地域づくりに全力をあげてまいります。様々なセミナーやイベント等を通し、在住外国人と県民が同じ地域構成員として、協働・協力体制を築いていけるよう、取り組んでいきたいと思っています。

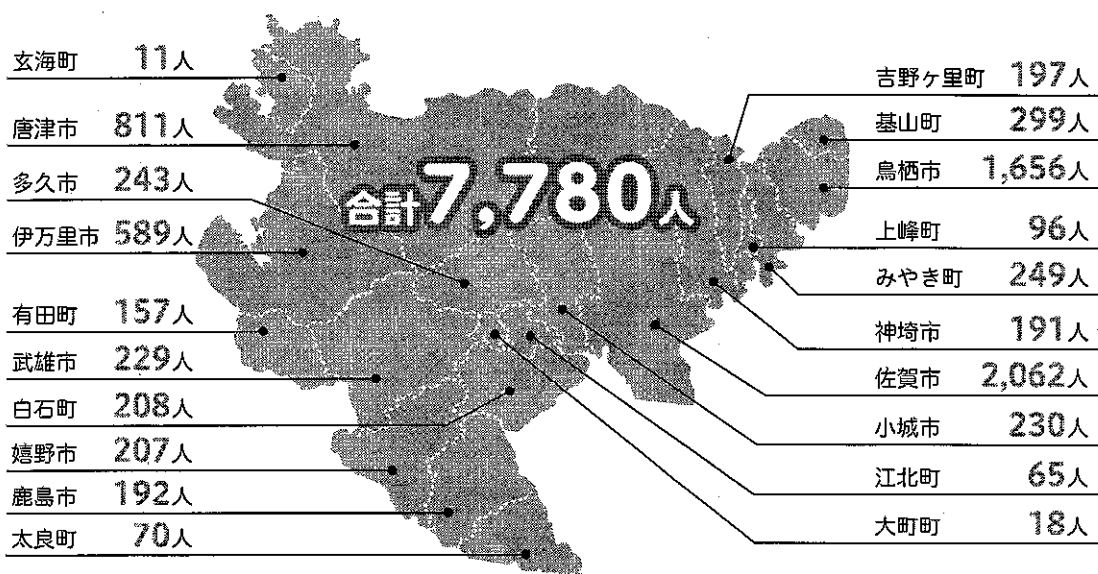
これからも民間団体等と連携・協働し、日本語教室や医療通訳サポーターの派遣など、多文化共生事業を一層進めていきたいと考えていますので、皆様の温かいご協力・ご支援をお願いいたします。

「SPIRAの3つの基本方針」

1. 多文化共生の地域づくりの推進
2. グローバル人材の育成及び国際交流団体等の活性化
3. 多様な主体との連携・協働

佐賀県内外国人住民の数（市町別）

※2023年1月1日現在佐賀県国際課調べ



役員名簿

2022年3月現在

評議員 [12名]

役職名	氏名	団体名・職名
評議員	寺本 憲功	国立大学法人佐賀大学 理事・副学長
評議員	宮崎 珠樹	佐賀県商工会連合会 専務理事
評議員	西岡 剛志	佐賀県中小企業団体中央会 専務理事
評議員	古賀 孝博	佐賀県農業協同組合中央会 専務理事
評議員	山崎 日出男	一般社団法人佐賀県建設業協会 専務理事
評議員	井手 雅彦	一般社団法人佐賀県労働者福祉協議会 理事長
評議員	高島 忠平	公益財団法人佐賀県芸術文化協会 理事長
評議員	山口 七重	佐賀県地域婦人連絡協議会 会長
評議員	白濱 百合子	佐賀生活文化交流会 代表
評議員	西岡 豊	佐賀県高等学校PTA連合会 会長
評議員	前島 梅子	日本語ネットワーク佐賀 代表
評議員	井崎 和也	佐賀県地域交流部国際課 課長

理事 [12名]

役職名	氏名	団体名・職名
理事長	黒岩 春地	佐賀県国際交流協会 事務局長兼務
副理事長	山下 宗人	佐賀県地域交流部 部長
副理事長	横尾 俊彦	佐賀県市長会 理事
副理事長	伊東 健吾	佐賀県町村会 理事
副理事長	古園 裕久	佐賀県商工会議所連合会 専務理事
理事	大井手 広毅	佐賀県教育庁 副教育長
理事	川崎 和正	佐賀玄海漁業協同組合 組合長
理事	江打 正敏	佐賀ユネスコ協会 会長
理事	中尾 清一郎	株式会社 佐賀新聞社 社長
理事	吉村 俊造	株式会社 サガテレビ 社長
理事	中島 章夫	一般社団法人佐賀県観光連盟 専務理事
理事	大野 博之	一般社団法人ユニバーサル人材開発研究所 代表理事

監事 [2名]

役職名	氏名	団体名・職名
監事	江副 元喜	佐賀県市長会 事務局長
監事	川久保 弘二郎	佐賀県商工会連合会 事務局次長

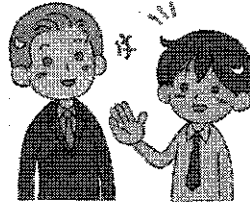
主な取り組み

A. コミュニケーション支援



在住外国人支援団体との連携により地域情報を多言語化およびやさしい日本語化し、行政・生活情報の提供を推進しています。

- ・国際交流・協力情報誌発行（やさしい日本語版）
- ・日本語グループ支援
- ・日本語スピーチコンテスト
- ・日本語教師養成講座助成
- ・日本語ボランティア養成講座
- ・「やさしい日本語」啓発セミナー



B. 生活支援



医療、保健、福祉、教育等様々な相談を受け、関係機関との連携により対応しています。また、災害に備え外国人を対象にした防災訓練や、災害多言語支援センターの運営準備にも力を入れています。

- ・在住外国人生活支援
 - 生活相談・専門家相談 ●健康相談 ●医療通訳
- ・子ども日本語学習サポーター等派遣
- ・佐賀県災害多言語支援センターの活動



C. 多文化共生の地域づくり



日本人も外国人も対等な暮らしやすいまちづくりを目指し、地域社会に対する多文化共生の意識啓発や、外国人住民の自立と地域社会への参画をサポートしています。

- ・国際交流・協力情報誌発行（日本人向け）
- ・地球発見隊出前講座（多文化共生理解出前講座、国際協理解出前講座）
- ・ランチタイムEnglishセミナー
- ・ボランティア啓発・推進
- ・多文化共生等助成事業
- ・さが国際フェスタ
- ・多文化共生情報発信事業（えびすFM、多文化アート展）
- ・佐賀県国際交流プラザ運営管理事業

さが多文化共生センター



その他の事業

- ・インターンシップの受入
- ・国旗の貸出

SDGsとは？

SDGs（持続可能な開発目標）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない（No one will be left behind.）ことを誓っています。

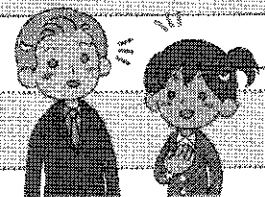
多文化共生とは

国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的な違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくことを言います。

（出典：多文化共生の推進に関する研究会報告書）

事業年表

2022 4.19~2023.2.28	ランチタイムSeminars! (全6回)
5.24	災害多言語支援センター設置訓練
5.31	(公財)佐賀県国際交流協会2022年度 第1回 理事会
6.10	「ウクライナを知るセミナー」UKRAINE NIGHT
6.24	(公財)佐賀県国際交流協会2022年度 評議員会
6.26	外国人のための体験型防災セミナー
7.30	SPIRA 多文化共生セミナー アフガニスタンに命の水をー中村哲医師・PMSと共にー
9.18	災害多言語支援センター設置「台風14号」
10.9	第7回 SPIRA 日本語スピーチコンテスト
10.30	2022 SPIRA さが国際フェスタ in 武雄
11.12	ウクライナチャリティーコンサート 「希望の大地」チャリティーツアー ウクライナの歌姫 ナターシャ・グジー コンサート 佐賀公演
11.29~12.15	日本語ボランティア研修会
11.29~12.15	通訳ボランティア研修会
12.3	Sagan World Cup 2022 フットサル大会
12.17~2023.2.24	医療通訳サポータースキルアップ講座
2023 1.17	アフリカンクッキングパーティ
2.1~2.28	「やさしい日本語」普及・啓発月間パネル
2.11	一般向け「やさしい日本語」啓発セミナー
3.24	(公財)佐賀県国際交流協会2022年度 第2回 理事会



A コミュニケーション支援

国際交流・協力情報誌発行(外国人向け)

佐賀での生活に役立つ情報や、県・当協会及び県内の民間国際交流団体等のイベントの広報を記載し、県内の各市町に送付、設置協力いただき、情報の提供を行いました。

全カラー2ページ2,500部 年2回発行

配布先：当協会賛助会員、各市町、公民館、教育機関、公共施設、国際交流団体、教会、エスニック料理店等



情報収集・提供

インターネット・メールやホームページ等で情報提供を行いました。イベント情報などの更新を随時行い、常に新しい情報を提供できるように整え、必要に応じて佐賀県発信の情報を多言語で配信しました。

また、Facebook、LINEを活用し、さまざまな多文化共生に関する情報や外国人住民に有益な情報を素早く届けることができました。



日本語教室支援

外国人住民のコミュニケーション支援、多文化共生の地域づくり、生活者支援を目的として、地域で活動している日本語指導のボランティアグループに対して会場費や教材費等の活動費の補助や広報協力等を行い、その運営を支援しました。

Webはこちら



県内の日本語教室

市町	グループ名	市町	グループ名
佐賀市	にほんごすいもく 水ようび	唐津市	唐津日本語教室
	にほんごすいもく 木ようび		にほんご晴
	どようび日本語 in SAGA	伊万里市	日本語教室いまり
	日本語ネットワークSAGA		Awesome IMARI
	国際コミュニケーションネットワークかけはし	武雄市	たけお日本語
	外国人のための日本語サークルラポール	鹿島市	かしま日本語教室
基山町	基山にほんごひろば きやまっち	白石町	しろいし Wa!Wa!Wa!
みやき町	みやき町日本語ひろば ~ちかっとにほんご~	嬉野市	カフェこくさいじん
小城市	おぎ日本語教室	神崎市	神崎日本語教室
多久市	多久日本語教室	鳥栖市	とすにほんごひろば ~とりんす~
有田町	日本語教室 in Arita		

(2022年度補助金交付実績 9団体)

日本語ボランティア研修会



日本語ボランティア活動をしている方やこれからボランティアを始めたいと考えている方を対象とした講座を行うことで、今後の日本語教育の活動者につながる人材を育成するとともに、活動中のボランティアも共に教室のあり方・活動を考える場を提供することを目的とし実施しました。

今年度は子ども日本語サポーター、通訳・メンタルサポーターの養成講座も兼ねて複数回実施しました。

日本語ボランティア研修会



第1回 公開講座

- 「つながる」ように伝える日本語学習支援
- 2022年11月19日(土) 13:00~15:30
- 佐賀国際交流プラザ研修室
- 群馬大学 結城 恵氏
- 50名



第2回 通訳ボランティア研修

- 学校での通訳の基礎知識
- 2022年11月29日(火) 10:00~12:00
- 佐賀国際交流プラザ研修室
- 佐賀県国際課 陣内 優子氏
- CIR マーテン ルッテ氏
- 18名

第3回 通訳ボランティア研修

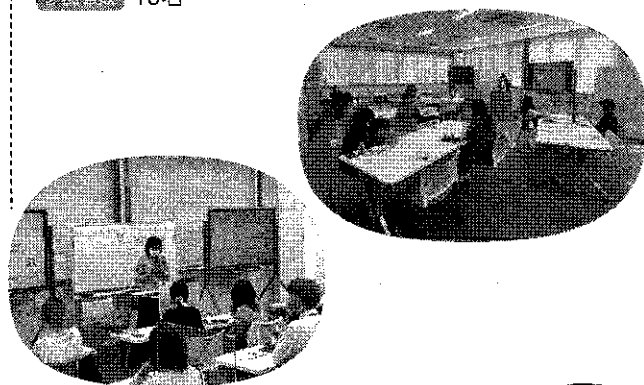
- ロールプレイ演習(言語別)
- 2022年12月15日(木) 10:00~12:00
- 佐賀国際交流プラザ研修室
- 英語・中国語・ベトナム語・ミャンマー語
- 12名

日本語ボランティア研修

- 「学習者の『声』から考える
地域日本語教室の役割とは？」
- 2022年11月29日(火) 13:00~15:00
- 佐賀国際交流プラザ研修室
- (公財)ひろしま国際センター 犬飼 康弘氏
- 23名

日本語ボランティア研修

- i) 佐賀県の子ども支援の仕組み
- ii) 外国につながる子どもへの日本語指導とは
- 2022年12月15日(木) 13:30~15:30
- 佐賀国際交流プラザ研修室
- i) 佐賀県教育振興課 指導主事 横山 千晴氏
- ii) 久留米大学 日本語講師
ランブクピティヤ デイヌーシャ氏
- 10名

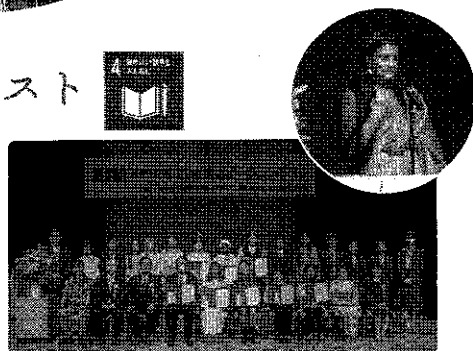


第7回 外国人による日本語スピーチコンテスト



佐賀市、佐賀市国際交流協会との共催により開催。青少年部門4名、成人部門13名、意見発表部門2名の計19名の日本語学習者が日頃の成果を発表する貴重な機会であると同時に、佐賀県民と外国人住民の相互理解・交流が促進され、双方に新たな視点を与える機会となりました。

- 2022年10月9日(日) 13:00~17:00
- エスプラッツホール(佐賀市文化交流プラザ交流センター内)



「やさしい日本語」啓発セミナー



外国人とのコミュニケーションに有効なツールの一つ、「やさしい日本語」。協会ではその「やさしい日本語」の普及・啓発に努めるために外部講師や協会職員を講師とした「やさしい日本語」セミナーを開催いたしました。

2022年度は、一般、団体、行政・教育機関向けにそれぞれ1回ずつ、計3回セミナーを開催し、受講した皆様に「やさしい日本語」の有効性や使い方等について知ってもらうことが出来ました。

また、より多くの方に「やさしい日本語」の普及を図るため、佐賀商工ビル共有スペースでパネル展も開催しました。

団体向け

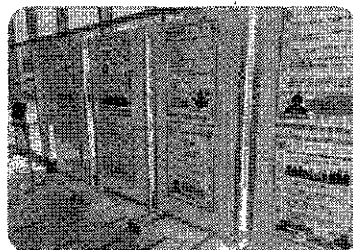
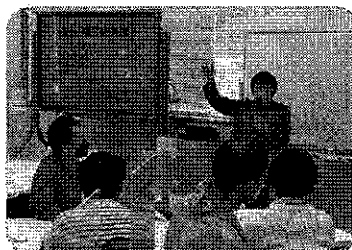
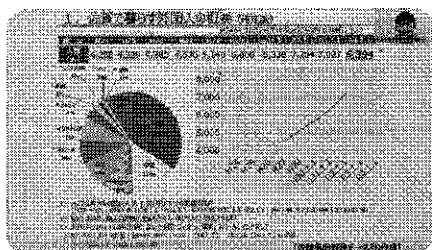
開催日 2022年11月16日(水)
 開催時間 19:00~20:15
 講師 協会職員
 参加者 26名

行政・教育機関向け

開催日 2023年2月2日(木)
 開催時間 12:00~13:00(ZOOM)
 講師 佐賀県日本語学習支援
 “カスタネット”
 貞松 明子氏
 参加者 38名

一般向け

開催日 2023年2月11日(土)
 開催時間 13:00~15:00(対面)
 講師 佐賀県日本語学習支援
 “カスタネット”
 貞松 明子氏
 参加者 39名



【パネル展】佐賀商工ビル

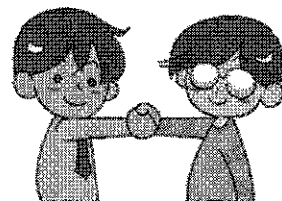
B 生活支援

在住外国人生活支援



生活相談・専門家相談

生活相談・専門家相談については「さが多文化共生センター」p.16をご覧ください。



健康相談

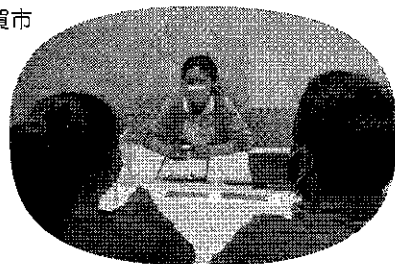
済生会唐津病院と連携し、健康相談会を1回実施しました。また、2022年度は済生会唐津病院の職員向けに「外国人とのコミュニケーション」及び「やさしい日本語」に関する研修動画を作成し、公開しました。

研修会（動画配信）

開催日 2022年8月10日(水)
 講師 済生会唐津病院職員
 内容 「外国人とのコミュニケーション」約40分
 「やさしい日本語」の使い方・練習」約40分

健康相談

開催日 2023年2月11日(土) 10:00~12:00
 参加者 2名
 会場 佐賀市



医療通訳

外国人住民の医療面に関する支援として、「医療通訳サポーター」を保健・医療機関等(35箇所)へ延べ165件(うち英語122件、中国語33件、韓国語1件、ベトナム語2件、ウクライナ語7件)派遣しました。

また、医療機関に働きかけて、多言語通訳コールセンターの案内と一層の利用を促しました。

医療通訳サポータースキルアップコース

2022年12月17日(土)～2023年2月24日(金)(言語別全5回)

第1回 「グローバル化する地域と公衆衛生」

熊本県北広域本部保健環境福祉部長 菊池保健所長 菊池福祉事務所長
 剣陽子氏

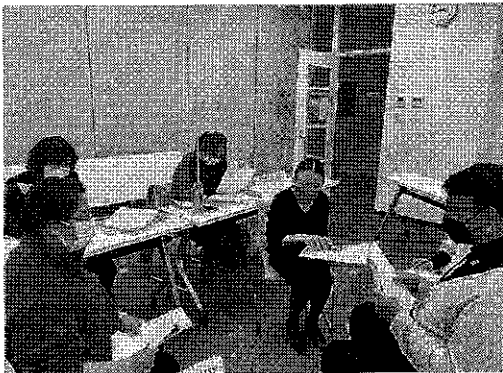
第2・3・5回 「言語別通訳実技演習」

- ・英語 渡辺育子氏
- ・中国語 北京・ニーハオ中国語センター 蔣晶氏
- ・ベトナム語 Bui Thi Thu Sang氏

第4回 「現場対応力をあげるケーススタディ～心構えとモラル～」

立命館大学衣笠総合研究機構 飯田奈美子氏

英語 18名 中国語 16名 ベトナム語 10名

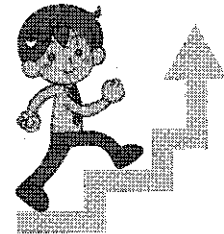


子ども日本語学習サポーター等派遣



県内の小・中学校に通う外国につながるを持つ児童生徒及びその保護者、学校関係者を対象に、子ども学習支援サポーターを派遣しました。学校からの依頼に応じて、当協会のボランティア登録者からサポーターを選定し、県内の小・中学校で日本語指導や通訳としてご活躍いただきました。

※2022年度からできるだけ早い段階での非常勤講師への切り替えを促進した。



活動内容

- ①子ども日本語学習サポーター：児童生徒本人に対する日本語指導や学習のサポート
- ②子ども通訳・メンタルサポーター：児童生徒本人やその保護者と学校間での通訳・母語でのメンタルケア

2022年度 派遣実績

子ども日本語学習サポーター	113件 (1124時間)	小学校28校、中学校14校
子ども通訳・メンタルサポーター	19件 (28時間)	小学校9校、中学校10校

子ども日本語学習サポーター養成講座

今年の講座は、p.7の日本語ボランティア研修会と併せて実施しました。詳細はp.7をご覧ください。



2022年9月台風14号に関する佐賀県災害多言語支援センターの活動

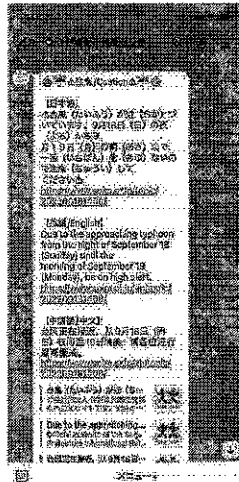
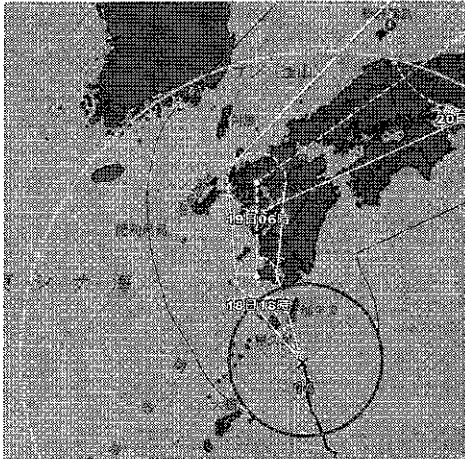
台風情報：詳細情報

T2214 (NANMADOL)

2022/09/18 08:45 発表

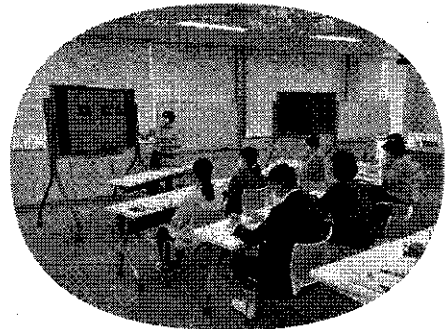
2022年09月18日08時

台風第14号



2022年9月18日から県国際課と共同で佐賀県災害多言語支援センターを設置し、台風に関する多言語情報の提供を実施しました。今回の活動では、ホームページなどにおける多言語情報の発信や災害情報収集など、全員が在宅勤務により初期対応を実施し、全国的にも特徴のある活動となりました。

また、5月24日には災害多言語支援センターの運営訓練を実施いたしました。ここでは過去の活動を踏まえ、初動対応（在宅勤務含む）での対応向上を目指した内容に取り組みました。








外国人のための体験型防災セミナー

災害時、母国との災害の違いや、言葉の問題などから、災害時要支援者と言われる外国人。

SPIRAでは、外国人住民に日本で起こる災害について理解を深めてもらい、いざ災害が起こった時にも自分で自分の身を守り（自助）、適切な行動（避難等）に繋がられるよう、防災について学ぶセミナーを開催しています。

防災セミナーでは、災害の基礎知識に加え、避難所や防災グッズについて学び、また消火器訓練や煙体験など、実際の体験を通じて防災について学ぶ機会を提供しました。

-  2022年6月26日(日)13:00～16:30
-  佐賀広域消防局
-  佐賀女子短期大学留学生
-  20名
-  佐賀女子短期大学、佐賀広域消防局、日本赤十字社佐賀県支部



C 多文化共生の地域づくり

国際交流・協力情報誌発行（日本人向け）

県・当協会及び県内の民間国際交流団体等のイベントの広報、国際交流・協力を実践している県内の国際交流団体の紹介、各種研修会のお知らせ等を記載し、県内の各市町に送付、設置協力いただき、国際交流・協力に関する情報の提供を行いました。

全カラー4ページ 2,500部 年4回発行

配布先：当協会賛助会員、各市町、公民館、教育機関、公共施設、国際交流団体等



地球発見隊出前講座



多文化共生理解出前講座（外国人講師）

国際理解講座を実施する学校、公民館、団体、PTA等の依頼に応じて、留学生、県内外国人住民の方を講師として派遣し、さまざまな国の歴史や文化を学び交流を深め、国際交流や協力への関心を高めることができました。

派遣件数	44件
派遣講師数	81名（延べ）
受講者数	2,916名

鹿島市生涯学習センター・エイブル

派遣先国：ベトナム 20名

講座のねらい

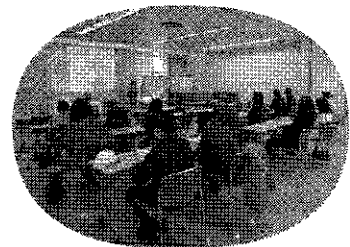
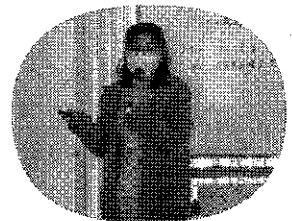
鹿島市には、国際交流や異文化理解を推進する公的機関がなく、そのような機会も少ない。そのため、鹿島市の在留外国人の中でもっとも多い「ベトナム」も市民にとってはあまり馴染みがないように思われる。鹿島市で生活する者同士よりよく暮らしていくためには、互いの文化や精神世界を知ることが必要である。今回は、地域住民が「ベトナム」の文化について知り、逆にベトナム人からみた日本についても教えていただき、相互理解を深めることを目指す。

講座の内容（概要）

- 先生には、ベトナムの基本的な情報（地理、人口の構造、経済、民族、言語、食、歴史など）についてパワーポイントを使って話していただいた。講演のあとは質問タイムを設け、先生自身のことやベトナム語についてなど気になることを質問してもらった。

受講者感想（抜粋）

- 初めて受けました。チャンスがなかったので、とてもよかったです。ベトナム語は発音が難しいことも分かりました。
- 日本の文化を深く学ぶことは大切ですが、やはり多文化を知ることによって日本人としての立場がわかる気がしました。流暢な日本語で分かりやすく、聞きやすく、内容も分かりやすかったです。また、学びたいです。
- ベトナムの歴史等大変興味深く聞かせてもらいました。ベトナムはとても好きな国です。



多文化共生理解出前講座（SPIRA職員）

市役所や町役場、民生委員協議会を対象に、県内外国人住民の現状、「やさしい日本語」など多文化共生社会づくりを目指すために必要なことをSPIRA職員を講師として実施しました。

派遣件数	6件
派遣講師数	6名（延べ）
受講者数	225名

国際協力理解出前講座（日本人講師）

国際理解講座を実施する学校、公民館、団体、PTA等の依頼に応じて、県内CSOの海外経験豊富な日本人の方を講師として派遣し、それぞれの国での活動体験や日本との違い等を学び、国際交流や協力への関心を高めることができました。



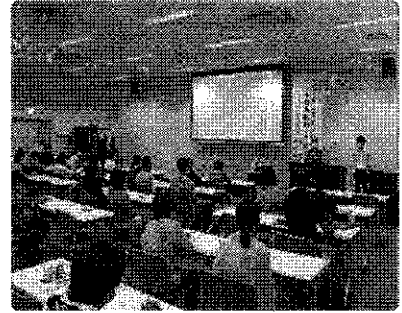
派遣件数	6件
派遣講師数	9名（延べ）
受講者数	417名

多文化共生セミナー



アフガニスタンに命の水を—中村哲医師・PMSと共に—

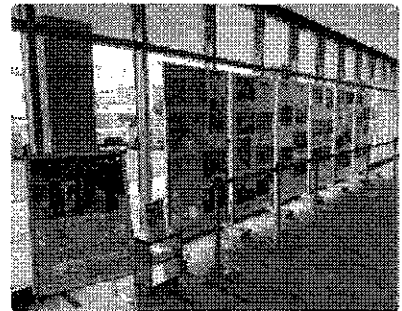
様々な方に多文化共生や国際理解・協力について考えていただくきっかけを作ることを目的に本セミナーを開催しました。今回は、NGO団体ベシャワール会の藤田千代子氏及び靱井孝文氏を講師に迎え、パキスタンとアフガニスタンで30年以上にわたって医療、用水路の建設や維持管理、農業の支援活動を行っているPMSを支える活動についての話と共に、藤田氏が故中村哲医師を近くで支えてきた歩みやアフガニスタンでの人道的支援の現状についてお話いただきました。セミナーを通して、多くの方に世界の現状を知り、国際理解・協力への理解を深めると同時に、「私たちにもできることがある!」と気づいていただく機会を提供しました。



日 時 2022年7月30日(土) 13:30～14:30

講 師 藤田 千代子氏
靱井 孝文氏
(NGO団体ベシャワール会)

※セミナーの開催に伴い、7月11日(月)～8月1日(月)にかけて「中村哲医師の歩み パキスタンからアフガニスタンへ そして今…」と題して、商工ビル1階にてパネル展示会を行いました。



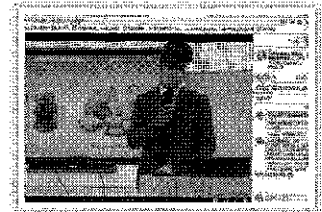
ランチタイムSeminars!



お昼休みの時間を利用して、どなたでも気軽に参加いただけるセミナーです。佐賀県国際交流員の3人を講師に迎えて、多様な視点で出身国の文化等について話していただきました。オンラインでもライブ配信し、たくさんの方に参加いただきました。

日 時 2022年4月19日(火)～2023年2月28日(火) (全6回)

講 師 Maarten Rutte氏(オランダ出身)
金 智賢氏(韓国出身)
Phan Nguyen Anh Tuyet氏(ベトナム出身)



ボランティア啓発・推進



ことば多言語、医療通訳、ことば日本語、子ども支援、ホストファミリーの5つの分野でボランティア登録を行い、ボランティア登録者のメールアドレス等を管理し、情報を提供しました。各種イベント、日本語指導や医療現場での通訳等、地域外国人住民の方々への支援に協力していただきました。

また、今年度は多言語ボランティアの研修会を日本語ボランティア研修会と合同で実施しました。詳細はp.7をご覧ください。

ボランティア登録者数 (2023年3月31日現在)

ことば多言語 ・うち医療通訳	225名 44名
ことば日本語 ・うち子ども支援	143名 52名
ホストファミリー	63家庭

【登録者数 合計 延べ527名】

多文化共生等助成事業

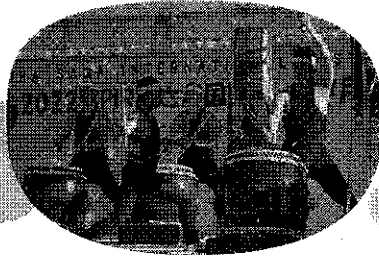
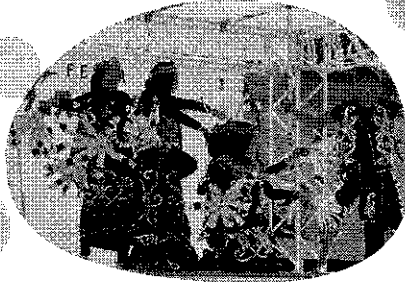


より多くの民間団体が活用しやすくなるように2021年度をもって多文化共生等助成金事業の助成要綱を見直し、新要綱では対象事業を「多文化共生事業」、「国際交流・協力事業」の2つに分けました。2022年度は、本県の国際化推進、多文化共生の推進に資した10（多文化共生事業9、国際交流・協力事業1）の民間団体に対象事業経費の一部を助成金として交付しました。

分野	実施主体	事業
多文化共生事業	水鏡プロジェクト	「燈ぼり灯ろうまつり」 留学生と子どもたちが一体となって明かりをプログラミングし、幻想的な明かりを作り出すことで、多様な文化・価値観を見出すことができた。留学生と国境を越えた地域づくりが達成できたことで、新しいコミュニティ形成に貢献することができた。
	世界をつなぐやさsea 日本語	「言葉も心もやさしく やさしい日本語プロジェクト」 小学校で実際に「やさしい日本語」を用いて意思疎通を行った経験を具体的に振り返り、「やさしい日本語」の良さや経験を絵本にして表現することが出来た。絵本を佐賀市内の小学校に配布することで、これから佐賀県のグローバル社会を担う子どもたちに「やさしい日本語」を知ってもらうことができた。
	ICE-T	「ICE-Tスポーツ交流会」 在留外国人と地域住民がスポーツを通して交流する。今年は、キンボールのほかに国スポ2024で競技を担当している武雄市レクリエーション協会に競技を依頼し、ラダーゲッター、リングキャッチなどの競技を導入。スポーツやレクリエーションを通じて異文化交流ができた。
	広江商店街	「ご当地野菜で発酵副産物にチャレンジ」 農業実習生や留学生は地域住民と交流する機会が少ないため、地元の農水産物を用いた発酵食を通しての交流を目指し開催した。日本の「甘酒」、韓国の「キムチ」を知ることで両国の発酵食品に対する考えを知ることが出来た。地域住民の関心の高さから、今後の定着が考えられる。
	佐賀県日本語学習支援「カスターネット」	「初級日本語集中講座in鳥栖」 新型コロナウイルス感染対策を講じ、6日間（計21時間）にわたっての日本語集中講座を開催した。受講者のレベルに合わせ、中級の語彙、文型内容を決め、体系的な文法講座を実施し、講座終了時にはまとまった日常会話を聞いて、理解し話せるようになった。
	佐賀地区日中友好協会	「中国料理と和食で文化交流」 これまでの活動の中で、中国人家族、留学生との交流を望む声が多くあり全2回の料理交流会を開催した。中国と日本、それぞれの国の料理を作りあい、留学生の生活、故郷料理の話をしきことで和気あいあいと交流することができた。
	特定非営利活動法人地球市民の会	「世界とつながるカフェ」 世界のお茶やコーヒーという身近なものを通じて、その生産国での暮らしや持続可能な社会の在り方について考えてもらう場を提供。佐賀県の在住外国人に講師や受講者として参加してもらうことで、社会の一言であるということをも日本人に知ってもらい、在住外国人には、近くの日本人と友達になるきっかけとしてもらった。
	一般社団法人隣友の会	「隣友の会 saga mama gift・kitchen」 食品を必要としている留学生などにパントリーし、参加されるいろいろな国の方を講師として招き、母国の文化や習慣、料理を紹介いただいた。一緒に料理をすることで交流が生まれ必要な支援につなげることができ、充実した事業となった。
	佐賀県外国にルーツを持つ生徒交流を支援する会	「さがあーるとりんく」 外国にルーツを持つ生徒の交流会を、年3回実施した。オンラインで講師から話を聞いた後、それぞれの国の保護者が講師となり、母国の恒例行事や、お祭りについて紹介してもらった。子どもの参加が増えたことで、保護者が積極的にかかわってくれるようになった。
	協国際交流事業	非営利活動法人愛未来 「スリランカカレー料理教室～SDGsとフェアトレードを学ぼう～」 スリランカ出身の方と一緒に本場のスパイスを使ったスリランカカレーを作り、スリランカの食文化、日本との深い繋がりを身近に感じていただいた後、映画「ザ・トゥルー・コスト ～ファストファッション 真の代償～」の上映を通して、SDGsとフェアトレードについての理解を深めた。

他、4団体より助成の申請がありましたが、新型コロナウイルス等の影響から、開催中止となったため、事業として助成できませんでした。

SPIRAさが国際フェスタ



今年で25回目の開催を迎えた国際フェスタ。2022年度も活動の地域展開を図るべく、メインイベントを武雄市で開催しました。10月30日(日)のメインイベントでは、武雄市のまちなか広場と中央公園の2会場を使用し、多国籍料理ブース、異文化体験ブース、民俗雑貨販売、団体活動PRブース等、武雄市で活動をする国際交流・協力団体を中心に県内から40の団体の参加があり、日本人だけでなく多くの留学生や外国人住民にも参加していただきました。

当日は、日本人、外国人合わせて約1,800名もの来場があり、このフェスタをきっかけに、普段の生活ではなかなか触れ合う機会がなかった留学生や外国人住民と地域住民が触れ合う機会にもなり、地域住民と外国人住民の顔の見える関係づくりにも貢献できました。

また、月間を通して県内CSO団体による国際交流・協力に関するイベントが開催され、期間中は佐賀市、伊万里市で様々な国際交流・協力が盛んに行われ、異文化に触れる機会となりました。

県内国際交流・協力団体によるイベント(一部)

10/1
[土]

～薬膳料理を楽しもう～
夏の疲れをとりましょう♪

- 佐賀市国際交流協会
- アバンセ3階調理室

湯品四神湯、レンコン炒め、夏音の黒糖ケーキを作りました。

10/2
[日]

スリランカカレー料理&
フェアトレード教室

- 特定非営利活動法人愛未来
- 久保田公民館、アバンセ、春日公民館

スリランカカレー料理を作るフェアトレードについて一緒に考えました。

10/8
[土]

つくってたべて国際交流だよ

- オイスカ佐賀県推進協議会
- 国際交流プラザ調理室

ミャンマーの研修生に料理を教わりました。

Sagan World Cup 2022 フットサル大会

2022年12月3日(土)に駅前不動産スタジアムにてJICA九州(JICAデスク佐賀)との共催でSagan World Cup 2022を開催しました。

当日は、日本を含む24カ国から12チーム105名が参加されました。3チームずつ4グループに分かれてグループリーグを行い、上位2チームが決勝トーナメントに進みました。優勝は佐賀大学のアフリカ留学生から構成されたチーム「AFROカササギ」、準優勝は名村造船所のインドネシア技能実習生チーム「NAMURA FC」となりました。

表彰式ではトロフィーやメダルの他に株式会社サガン・ドリームス様やイダ靴下株式会社様からご提供いただいたオリジナルグッズを賞品として渡しました。

スポーツ・サッカーを通して、参加者である技能実習生、留学生、ウクライナ避難民など外国人住民同士や外国人住民と日本人住民の国際交流を行う場を提供することができました。



多文化共生情報発信事業



ラジオ放送(えびすFM)

多文化共生の地域づくりを促進するため、県内の外国人住民やボランティアをゲストに迎え、多文化共生に関するさまざまな情報をコミュニティFM(えびすFM)のラジオ番組により発信しました。

毎月第3水曜日 19:00~20:00 12回

SPIRA職員、県国際課職員、外国人住民、日本語教室ボランティア等



佐賀県国際交流プラザ運営管理事業

佐賀県の委託を受け、2021年4月1日より佐賀県国際交流プラザの運営管理を行っています。佐賀県国際交流プラザは誰でも利用できる「海外と日本をつなぐ」施設です。このプラザでは、国際交流・協力、日本語・外国語学習に関する書籍の貸出や国際交流等外国人住民と日本人住民の交流を図る様々なイベントを開催しています。

また、同プラザには調理室や研修室等外部貸出可能な施設も完備しています。様々な国の人たちと交流をしてみたい、世界の情報を知りたい、国際交流イベントに参加してみたいと思われる方はぜひ遊びに来てください。



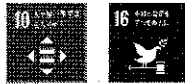
佐賀県国際交流プラザ

☎0952-25-7004

10:00~21:00

10:00~17:00

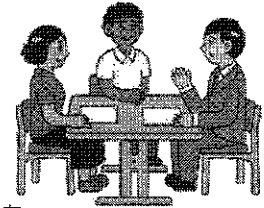
さが多文化共生センター



県からの委託を受けスタートした外国人住民に関する総合相談窓口「さが多文化共生センター」は、2022年10月30日に3周年を迎えました。専任の相談員が通訳者や専門家と連携のもと、対面・電話・メール・SNS等の方法を用いて相談対応しました。今年度はウクライナ支援等に関する相談窓口として、支援に関する問い合わせや、避難民の方々からの生活相談にも対応しました。

対面相談実施曜日

月	火	水	木	金
やさしい日本語 ベトナム語	やさしい日本語 ベトナム語 中国語	やさしい日本語 ベトナム語 英語	やさしい日本語 ベトナム語 韓国語	やさしい日本語



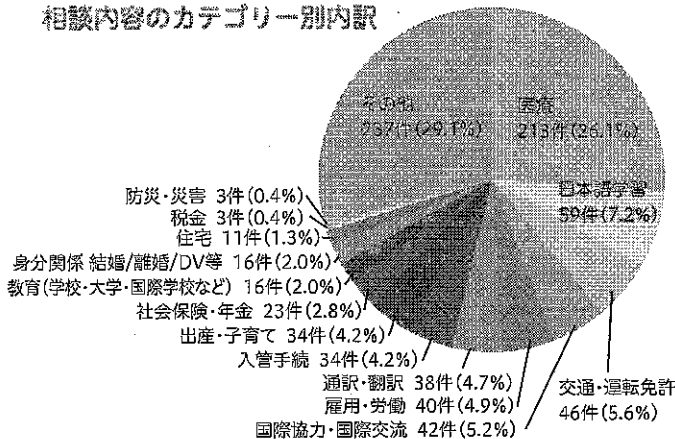
その他の言語については多言語通訳コールセンターや翻訳機（ポケトーク）を利用して対応

生活相談

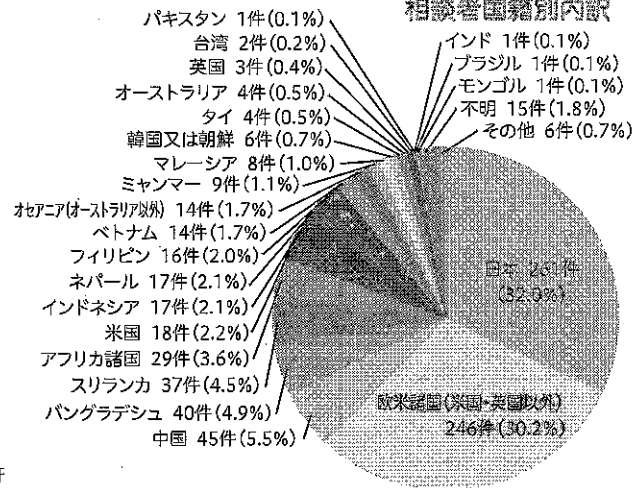
相談内容に応じて情報提供を行うほか、当協会登録ボランティア、各市町、各士業の専門家、民間国際交流団体等と連携を図りながら対応しました。また、他県の地域国際化協会やCSO（市民社会組織）等民間団体とも連携し、より良い解決方法について情報収集を図りました。

2022年度 相談の件数 延べ 815件

相談内容の 카테고리別内訳



相談者国籍別内訳



専門家相談

生活相談の中で専門家による対応が必要と判断される案件は関連機関と協力し、相談を実施しました。2022年度は弁護士に7件、行政書士に2件、佐賀県しごと相談室に2件、その他の専門家に3件ご対応いただきました。また、2022年度は福岡出入国在留管理局佐賀出張所と連携して入管手続相談会を5回実施し、14件の相談に対応しました。

ウクライナ避難民生活支援

佐賀県国際交流協会は、SAGA Ukeire Networkの一参加団体として、佐賀県に避難してこられたウクライナ避難民の方々への生活サポートを行いました。

〈生活サポート〉

- ・入管手続き
- ・市役所手続き
- ・日本語学習支援
- ・医療支援
- ・その他生活支援



ウクライナの歌姫 ナターシャ・グジー チャリティーコンサート 佐賀公演

ウクライナ避難民生活支援事業の一環で、佐賀県との共催、JICA九州、SAGA Ukeire Network ～ウクライナひまわりプロジェクト～の後援により、ウクライナチャリティーコンサートを開催しました。コンサートには県内外から約500名の来場者に加え、避難民15人を招待しました。

必要経費を除き、当日の入場料と募金箱に集まった寄付金併せて84万5113円を義援金として佐賀県ウクライナ避難民救援義援金（佐賀県健康福祉部社会福祉課）に寄付しました。改めて、チャリティーコンサートに関わっていただいたすべての皆さまに深謝の意を表します。ありがとうございました。

- 📅 2022年11月12日（土）
14:00～15:30
- 📍 佐賀県立美術館ホール
- 👥 約500名



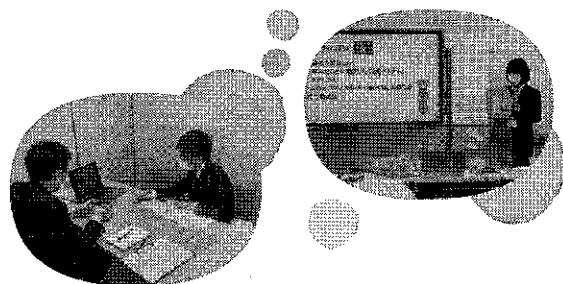
その他の 協会事業

インターンシップの受入

インターンシップの受入れを行い、学生のキャリアビジョンのお手伝いをしています。各種研修会・イベントの準備や運営補助、翻訳作業、JICAデスク佐賀国際協力推進員や国際交流員との対談など、さまざまな業務に参加し、国際交流・協力や異文化理解、多文化共生についての理解を深めるとともに今後のキャリアについて考える機会にいただきました。

受入実績

学 校	実施期間	参加人数
筑紫女学園大学	2022年9月1日～9日	1名
	2022年9月12日～22日	1名
横浜市立大学	2022年9月12日～16日	1名
佐賀女子短期大学	2022年12月26日～	1名
	2023年1月6日	(ネパール出身)
佐賀県教職員研修	2022年7月7日～15日(うち4日)	1名
	2022年7月29日～30日	1名
	2022年8月2日～3日	1名

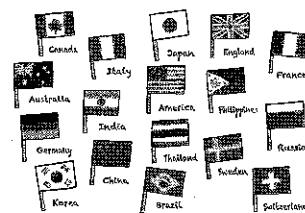


国旗の貸出

SPIRAでは、県内の各種催しでご利用いただける国旗を貸し出しています。国際交流・協力、多文化共生等の行事でぜひご活用ください。

👥 協会の賛助会員である個人・団体及び、県内の教育機関、公共機関等

🚩 掲揚旗、卓上旗 全187か国 🆓 無料 📅 一回につき2週間以内 📄 延べ13件

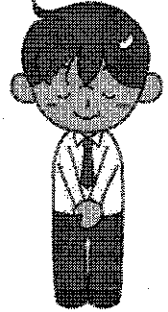


賛助会員

賛助会員募集

当協会では、県民総参加の「多文化共生の地域づくりの推進」のために、賛助会員制度を設けております。地域の国際化・国際交流、多文化共生の進展に向けて、広く賛助会員としての参画をお願いします。

当協会の趣旨に賛同し、協会の運営活動に協力していただける個人・団体・企業・機関等



会費の目安

個人会員	年会費 1口	3,000円
団体会員(団体・企業・機関等)	年会費 1口	10,000円

賛助会費の活用

賛助会費は当協会の事業予算と併せ、佐賀で暮らす外国人住民のサポートや多文化共生を進めるための事業に、大切にに使わせていただいています。

会費の特典

協会発行の国際交流・協力情報誌「HELLO SAGA」(年4回発行)
民族衣装の無料貸出



賛助会員(個人30名、団体26団体) (2023年3月31日現在) (団体名については50音順・敬称略)

一般財団法人 言語交流研究所 ヒップファミリークラブ	佐賀県日中友好協会
オイスカ佐賀県推進協議会	佐賀女子短期大学
株式会社 普成印刷	佐賀ユネスコ協会
株式会社 テクノ九州	社会福祉法人 佐賀整肢学園
株式会社 ビーボーン	中原胃腸科内科
韓国家庭料理 百済	西九州大学
くらしサポートさが	西九州大学短期大学部
公益財団法人 佐賀県女性と生涯学習財団	にほんごすいもく 木ようび
国立大学法人 佐賀大学国際交流推進センター	日本語ネットワーク佐賀
こんにちワークSaga	特定非営利活動法人 ヒーリングファミリー財団
佐賀怪友会事業共協同組合	モードサプライ協同組合
佐賀県商工会連合会	ラボ国際交流地域会(公益財団法人ラボ国際交流センター)
佐賀県地域婦人連絡協議会	唐津ボランティアガイド

公益財団法人 佐賀県国際交流協会 2022年度 年報

発行 公益財団法人 佐賀県国際交流協会 発行日 2023年 5月22日
〒840-0826 佐賀県佐賀市白山2-1-12 佐賀商エビル1階 佐賀県国際交流プラザ内
TEL : 0952-25-7921 FAX : 0952-26-2055 E-mail : info@spira.or.jp

